

議会だより

げんせい

2019

Vol.103

9月6日~12日

9月定例会



芸西子ども会踊り子連
ちい〜むきつず

2-3

条例の改正 人事

4-7

30年度決算

8-9

元年度補正予算

9

議員報酬検討特別委設置

10-14

4低が一般質問

編集 高知県芸西村議会広報編集委員会
発行 議長 竹内 英樹
印刷 ㈱高知新聞総合印刷

令和元年

9月定例会

使用料・手数料

消費税引き上げ

令和元年9月定例会は、9月6日から12日までの会期で開かれ、平成30年度決算認定、令和元年度補正予算など村長提出27議案と議員提出1議案を審議・採決した。

また、一般質問には4氏が登壇し、村政全般についてたじた。その概要は以下のとおり。



一般職の給与 条例の改正

法で定められている成年被後見人等に係る欠格事項に関する措置の適性を図るもの。
職員が成年被後見人等に該当するに至ったときは、その職を失うとする規定が削除されたことに伴う改正。

【全員賛成で可決】

消防団員の任免、 服務等条例の改正

消防団員の成年被後見人等に係る欠格事項に関する措置の適性を図るもの。

【全員賛成で可決】

火災予防 条例の改正

省令の改正に伴い住宅用防災機器の設置及び維持の基準を変更するもの。

【全員賛成で可決】

村民会館、保健センター 設置条例の改正

消費税引き上げに伴い使用料の税率を10%に変更するもの。

【賛成多数で可決】

簡易水道 条例の改正

消費税引き上げに伴い水道料金の税率を10%に変更するもの。

新給水加入金		金額(消費税込み)
給水区分		
メーター口径	13mm	38,700円
	20mm	55,000円
	25mm	91,600円
	30mm	157,800円
	40mm	363,600円
	50mm	636,500円

【賛成多数で可決】

下水道 条例の改正

消費税引き上げに伴い下水道使用料金の税率を10%に変更するもの。

【賛成多数で可決】

保育所設置 条例の改正

保育所分園の廃止と定員を95人に変更するもの。

質疑

問 松坂議員

入所の希望が増えたなら、定数を増やすのは必要なことだ。他方、最近プレハブを建ててそこで保育をしているが、施設はその人数に見合ったものか。定数95人を受け入れる施設の収容能力はあるのか。

答 池田教育長

今回の定数増は、0歳児の定数を10人から15人



芸西幼稚園の運動会の準備

に増やすものだ。0歳児保育は、プレハブ園舎で行い、9人を超えたら、月齢の高い乳児から本園北舎に移動し保育をしている。
面積は、本園だけでも十二分に確保している。建て替え計画についてはプロジェクトチームをつくり検討を重ねている。

【全員賛成で可決】

幼稚園授業料
徴収条例の廃止

幼児教育・保育が無償化されることに伴い廃止するもの。

【全員賛成で可決】



固定資産評価委員に

竹崎 孝夫氏

(再任)



竹崎 孝夫氏

固定資産評価委員に竹崎孝夫氏を選任したいとの提案があり、全員賛成で同意した。

略歴

昭和29年生、馬ノ上。任期は、令和元年11月1日から令和4年10月31日まで。

教育委員会委員に

公文 三郎氏

(再任)



公文 三郎氏

教育委員会委員に公文三郎氏を選任したいとの提案があり、全員賛成で同意した。

略歴

昭和31年生、西分。任期は、令和元年10月1日から令和5年9月30日まで。

安芸地区消防団連合会消防操法大会を応援

視察
応援



7月21日安芸地区消防団連合会消防操法大会が安芸市防災センターで開かれ、芸西村からも3分団が出場しました。芸西村議会も視察・応援に参加しました。

30年度
決算

歳出 38億4,211万円

(前年比 9.2%増)

ふるさと応援基金積立金
レンタルハウス建設補助金

5億9,962万円
1億970万円

消 防

火災で2件の出動があった。

救急委託業務では、29年度より9件増加の329件の出動があり、内訳は急病195件、転医58件、負傷45件、交通事故など26件、その他5件のうちドクターヘリによる搬送8件となっている。
29年に火災があった西分大平地区の消火栓設置工事は完了した。

防 災

村内一斉防災訓練を9月に実施し、トランシーバーを利用した情報伝達

訓練や地区での炊き出し訓練を実施した。

また、高知地方気象台から講師を招き、近年の豪雨の起こる仕組みや南海トラフ地震についての講演を行った。

南海トラフ地震対策は、公共施設5施設の非構造部材耐震化工事に向けた調査を実施した。村民会館には、停電時に電力の供給が可能になる停電時電源切替システムの設置工事を行った。
防災行政無線個別受信機を高齢者世帯など5世帯に設置した。

自主防災組織

資機材再整備補助金事

業を活用し和食浜中地区が資機材を整備した。自主防災組織活動補助金事業を活用し5地区が非常食、水、消耗品などの整備を行った。

また、避難所5カ所の運営マニュアルの作成、災害用トイレ、非常用食料品、毛布、備蓄用缶詰を購入した。
高知県避難所運営体制整備加速化事業を活用し避難所への地震感知型キーBOX設置及び資機材を購入し大規模災害に備えている。

租税債権管理機構

30年度は、55件2575万円の徴収を移管し1

ふるさと納税

937万円の収納があった。村税の滞納繰越額は対29年度比21%減となっている。

11月の総務大臣による返礼品見直し表明の影響後、一時的な寄付額の減少があったものの、SNSなどでの広報の効果により、2万50件、5億929万円余りの寄付があった。

健康・福祉

売活動を行い234万円の収入があった。

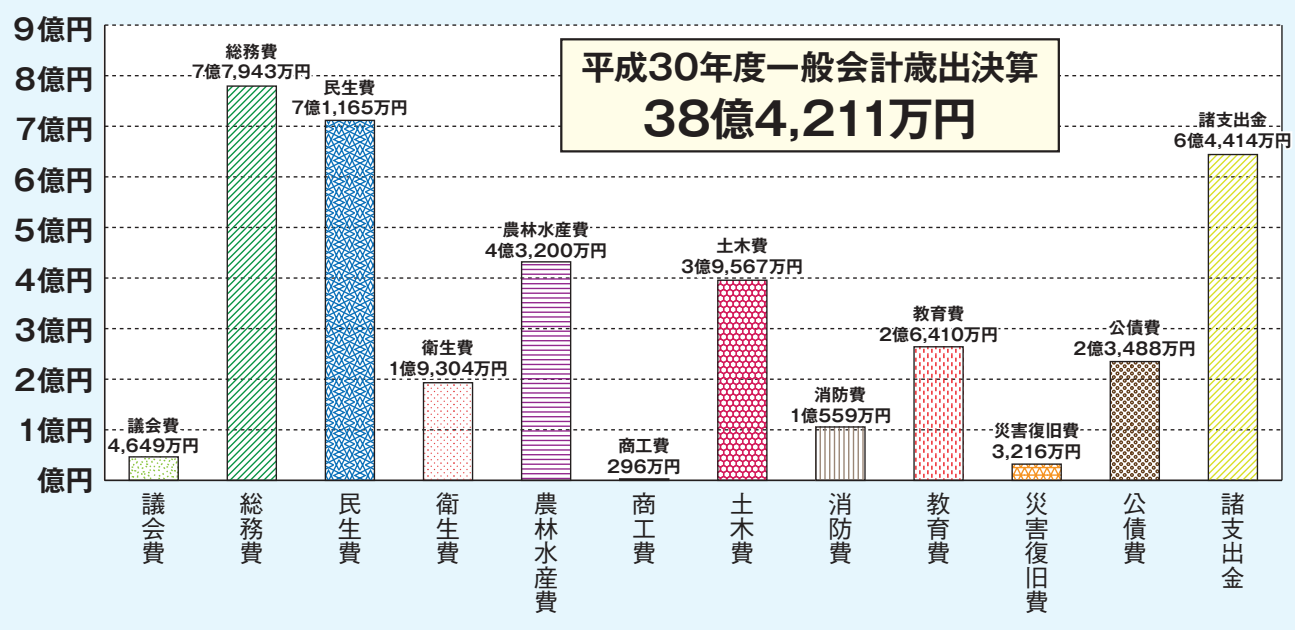
ふれあいセンターなどで健康維持や介護予防事業を行い6カ所で延べ1万3445人の利用があり、外出支援バスは延べ1万922人の利用があった。

集落活動センター

シキビや白玉糖の製造、販売、竹林整備、黒糖ミルクバターパンの販

包括支援センターの対応件数は、実態把握延べ92人、総合相談延べ661人、権利擁護業務延べ24人であった。
認知カフェは6回開催し、延べ99人の参加があった。
疾病の重症化予防対策として特定健診の検査値

平成30年度一般会計歳出決算 38億4,211万円



産業振興

高知県東部移住ツアーを東部地域合同で企画、開催した。レンタルハウス整備を

が一定基準値以上の17人を対象に、保健師による指導を3カ月間継続し10人が改善した。引き続き健康寿命の延伸、健康格差の縮小を目指す。



集活センター開発の黒糖チーズケーキ

新規就農3件、規模拡大7件の建設支援を行った。産地パワーアップ事業による1件の低コストハウス建設補助をした。炭酸ガス発生機や総合環境制御装置など、先行導入した農家の増収効果が表れていることから、追加導入も含め37件の農家に導入した。北芝団地建て替えに関する宅地造成測量設計を行った。

土木環境

橋梁補修補強工事11橋の設計と4橋の改修工事、村道橋ノ本線江渡川の底張り工事、村道吉野線の法面改修工事などを実施した。国道和食陸橋北側の村道と食馬ノ上線拡幅工事、高規格道路芸西東インターチェンジ付近のコモ谷川改修工事は繰越事業となった。当村でも、7月5・6日の豪雨により多くの被害が出たが件数が多く一部の工事が繰越での施工となった。瓜生谷地区のパイプライン整備は取水設備と一部の地域を除き排水管布設工事が完了した。和食川導流堤閉塞防止対策の調査研究や予算の確保、検討会の開催について村、議会、JAの三者連名の要望書を県に提出した。

教育

熱中症対策、教育環境改善のため、小・中学校へのエアコン整備に着手し、12月に設計契約、3月に工事契約を行い繰越事業となった。美術館では、「筒井広道没後10年特別企画展」など、10企画展を開催し、年間7239人が訪れた。

質疑

問 岡村(俊)議員

村民税・固定資産税において前年度決算額より、大幅に増減している科目があるが、その増減理由を問う。

答 都築総務課長

個人村民税の収入額の増加理由は、営業所得・農業所得・一時所得など

は減少しているが、譲渡所得が前年度に比べて一時的に大幅に増加しているのが要因だ。

不納欠損額の増加理由は、滞納整理を進めていき財産調査を行い、差し押さえできる資産がない場合、強制的な徴収

をしない執行停止の措置をとる場合がある。

その状態が3年間継続した場合には、不納欠損とすることとなり、その案件が前年度は多かつたのが増加の理由だ。

滞納額については、平

成28年度から安芸広域租税債権管理機構への徴収移管が始まり、移管案件の滞納整理が進んでおり、税全体の徴収率も年々右肩上がりであり、推移しており、滞納額も減少傾向にある。

【全員賛成で認定】



村道と食馬ノ上線拡幅工事完成

代替バス会計

歳入、歳出389万円。運行委託料366万円。輸送人員は、延べ74人で前年比98・8%。運賃収入は9万円余りで、前年比74・1%と輸送人員・運賃収入とも減少。

長距離利用者の減少と、試行を始めた予約運行による運賃改正の影響によるものと推測される。

【全員賛成で認定】

住宅資金貸付会計

歳入567万円。歳出451万円。事業の貸付金元利収入金額は515万円となっている。

滞納解消に向け、安定した金額を償還しており、年々滞納金額は減少している。

令和元年度から安芸租税債権管理機構が住宅新

築資金などの私債権も取り扱うことになった。引き続き催告や面会を重ね、滞納解消に努める。

【全員賛成で認定】

国保会計

歳入8億5866万円。歳出8億4880万円。

国保事業における平均世帯数は78世帯、平均被保険者数は1441人。前年比では、世帯は13世帯の減、被保険者数は32人の減少。

保険給付費は5億6303万円、前年比1・1%（649万円）の増加。

歳入では、保険税率の見直しにより1億7493万円、前年比3・2%（545万円）の増加。

特定健診は、健康づくり婦人会の受診勧奨の協力や健康意識の向上により、受診率は41・8%、前年比1・0%の増加。

医療費の抑制には、疾

質疑

問 松坂議員

国保会計の30年度決算で税収は1億7500万円まで伸び、元年度当初予算に計上した額より500万円超えた。また、今年度補正予算には1000万円の繰越金が出て、基金に積み立てた。この結果を見ると、3月議会で国保税引き上げは必要なかったのではないかと

答 山本健康福祉課長

繰越金1000万円は、国保税滞納分が見込みを450万円上回る収入があり、また、県の交付金も見込みを330万円上回った。国保税をどうするかを検討する際には予測で

きないものだった。

問 松坂議員

当村は他市町村に先駆けて法定外繰り入れを行い、保険料を低く抑える努力をしてきた。村長は毎年国保税を上げているが、県が求めるままに法定外繰り入れをやめ、県が示す標準保険税率まで突き進もうとするのか。

答 溝渕村長

今後とも一般会計からの繰り入れを一定考えながら、徐々に負担増もお願いしなければならぬ。

【賛成多数で認定】

介護保険会計

歳入5億2565万円。歳出5億1925万円。

30年度末人口は3761人、高齢者人口は1408人。高齢化率は37.4%となり高い水準で推



あったかふれあいセンター百歳体操

移している。

1号被保険者数は前年比7人減の1361人、認定者数は12人増の279人、サービス受給者数は1人減の207人となっている。

介護給付費の歳出決算額は4億6782万円となり、前年比5886万円の増加となった。

給付費増加の主な要因

は、特定施設入居者生活介護、前年比53.7%増の2053万円、施設サービスが前年比22.7%増の2億1457万円となっており施設サービスへの志向が強まっている。

新規事業として、あったかふれあいセンターと

ほっとハウスにリハビリ

テーション専門職を派遣し、個別の評価、介護予防のアドバイスを受ける地域リハビリテーション活動支援事業に取り組んだ。

また、生活支援体制整備事業では、地域資源の把握や高齢者のニーズなどについて毎月1回協議

を行っており、30年度は「在宅での看取り」について高齢者本人や家族の関心が高まっていることから、住民を対象とした看取り研修会を行った。

後期高齢者医療会計

歳入6340万円。歳出6164万円。

被保険者数は、年度末では70人となり前年比19人の増加となっている。

被保険者全体のうち75歳以上は75人で、全体の97.4%。65歳以上75歳未満で障害認定を受けた人は20人(全体の2.6%)となった。

「高知県後期高齢者医療広域連合」への負担金は24万円増の6094万円となった。

【全員賛成で認定】

簡易水道会計

歳入1億919万円。歳出

1億357万円。管渠工事では、西分一向地区の老朽管布設替工事を実施した。

新設改良事業費の総額は、布設替工事や和食タム建設負担金の減少で前年度より大幅に減額となった。

【全員賛成で認定】

下水道会計

歳入1億9530万円。歳出1億9484万円。

猫谷地区の下水管布設工事を行い、計画区域全域での下水道整備が完了した。

維持管理では、下水道施設の管理に努め、浄化センターの曝気装置の修繕を行った。

本年度の接続件数は22件で、年度末の加入率は75.4%となっている。

【全員賛成で認定】

一般会計
(第3号)

補正額4億519万円の増額

総額38億7,311万円

元年度
補正
予算

主なもの

区 分	金 額
ふるさと納税返礼品費	3,000万円
集落活動センター補助金	1,683万円
ふるさと納税利用料	2,195万円
芸西米ブランド確立支援事業補助金	1,138万円
耐候性ハウス建設補助金	7,350万円
ふるさと応援基金積立金	1億5,000万円

質 疑

問 松坂議員

今回計上された災害応
急工事300万円のもとに

耐候性ハウス建設補助金
ふるさと応援基金積立金

1億5,000万円
7,350万円

かっただのか。

答 松本土木環境課長

被災箇所が農地でも道

なつた災害は、昨年7月
の大雨によって起こって
いる。当事者は何度か担
当にも話に行っている。
なぜ1年以上も対応しな



新たに、地場産品としてブランディングした芸西米

路でもないため、災害復
旧工事の対象にならず、
斜面も不安定ではなかつ
たため、当面様子を見る
ことにしていた。しか
し、上段の耕作者から水
田の水が抜けるという相
談があり、今後の大雨で
斜面が大きく崩れること
も考え、単独事業で対応
することにした。
担当者の説明が相手に
十分伝わってなかったか
もしれない。相談者への
対応については改善した
い。

【全員賛成で可決】

住宅資金貸付
会計(第1号)

1160万円を追加
し、総額を1314万円

とするもの。

一般会計繰出金1116
0万円。

【全員賛成で可決】

国保会計

(第1号)

986万円を追加し、総額
を9億3188万円とす
るもの。

基金積立金986万円。

【全員賛成で可決】

介護保険会計

(第2号)

1038万円を追加
し、総額を5億2228
万円とするもの。

主なものは、高額介護
サービス費200万円、基金
積立金616万円など。

【全員賛成で可決】

後期高齢者医療 会計 (第1号)

234万円を追加し、総額

を6544万円とする
もの。

後期高齢者医療広域連
合納付金234万円。

【全員賛成で可決】

簡易水道会計

(第1号)

546万円を追加し、総額
を1億1576万円とす
るもの。

主なものは、維持管理
費340万円、基金積立金176
万円など。

【全員賛成で可決】

下水道会計

(第1号)

530万円を追加し、総額
を1億9950万円とす
るもの。

浄化センター改修工事
費530万円。

【全員賛成で可決】

芸西村議会議員報酬検討 特別委員会設置に関する決議

全国的に地方議会議
員のなり手不足が問題
となっている。当村で
も前回の議会議員選挙
が合併以来初の無投票
となった。その理由の
一つとして考えられる
議員報酬のあり方につ
いて調査、検討してい
くものである。

委員は、6人構成。

反対討論

宮崎議員

そもそも、この会の
設置目的は、議員の
「報酬等」の調査研究
であり、会議において
正式に認めてもらうも

のだった。

議員報酬アップには
反対の意見もあつた
が、調査研究というこ
とで会の設立となつ
た。

代表者に素案の作成
を依頼したが、書類が
完成すればあらかじめ
議員内で議論を行い、
また意見の調整をする
手続きを前もってすべ
きではないか。

議員間の協議もな
く、いきなり会議にお
いて賛否を問うのは、
あまりにも早計と思っ
が次回に延期してはど
うか。

【賛成多数で可決】

議会の動き

7月

- 4日(木) 四国四県町村監査委員協議会研修会(高知市)【監査委員】
- 12日(金) 議会だより102号第3回広報編集委員会
- 16日(火)・17日(水) 決算審査(事前審査)【監査委員】
- 18日(木) 市町村議会議員研修会(高知市春野町)
- 21日(日) 安芸地区消防団連合会訓練
- 22日(月) 決算審査(事前審査)【監査委員】
- 23日(火) こめん・なはり線活性化協議会総会(安芸市)【議長】
安芸広域市町村圏事務組合議会定例会(安芸市)【議長】
- 24日(水) 安芸郡町村議会議員等研修会(東洋町)
- 25日(木) 例月出納検査【監査委員】
- 27日(土) 芸西村納涼祭
- 29日(月)~31日(水) 決算審査【監査委員】

8月

- 2日(金) 決算審査【監査委員】
- 22日(木) 例月出納検査【監査委員】
- 23日(金) 安田町議会広報編集委員会視察受入

- 28日(水) 町村議会議長研修会及び県政に対する意見交換会(高知市)【議長】
- 30日(金) 議会運営委員会

9月

- 6日(金) ふれあいくろしお祭り実行委員会
- 6日(金)~12日(木) 令和元年第3回芸西村議会「定例会」
- 12日(木) 議会だより103号第1回広報編集委員会
- 14日(土) 芸西村琴ヶ浜松原観月の宴
芸西中学校体育大会
- 16日(月) 芸西村敬老会
- 19日(木) 交通安全祈願祭
- 20日(金) 芸西村議会議員報酬検討特別委員会
- 21日(土) 芸西小学校運動会
- 25日(水) 例月出納検査【監査委員】
- 25日(水)・26日(木) 町村議会広報研修会(東京都)
- 27日(金) 芸西村議会議員報酬検討特別委員会視察研修(四万十町)
- 30日(月) 議会だより103号第2回広報編集委員会

9月定例会では4氏が登壇し、村政全般について質問しました。

- 宮崎 義明…………… 10
災害への備えを万全に
- 岡村 俊彰…………… 11
3歳児健診での弱視検査の実施は
- 安芸友 幸…………… 12
海外の子どもとの交流を
若者の投票率を上げるには
- 松坂 充容…………… 13
和食津波避難タワーに屋根を

災害への備えを万全に

情報収集し研究努力 村長

警戒レベル4になれば、職員を動員して確実に情報を伝達するべきで

はないか。さらに、避難誘導や水害対応に従事する消防団員に危険が迫った際に、活動を中止する基準を策定しておくべきではないか。

答 都築総務課長

感震ブレーカーの設置



宮崎 義明議員

問 宮崎議員

地震発生時に想定される地震火災による物的・人的被害の軽減対策として、「出火や延焼防止」などの対策が考えられる。出火の原因は、通電火災での発生とされるが、感震ブレーカーを設置しておけば出火防止対策と

なる。

行政によって全世帯に感震ブレーカーを設置してはどうか。

また、気象庁などが危険度によって住民がとるべき行動を5段階で表示する運用が始まった。豪雨時に低地ハウスで作業する農家には、正確な情報が伝わりにくい。



感震ブレーカー

については、当村は県の重点推進地区の指定ではなく補助事業は使えない状況だ。

大規模地震の際、防火や延焼の防止には住宅密集地で一定戸数設置されれば有効との認識はある。

他市町村の動向を見つ、事業としての必要性や設置に関する課題を検討する。

情報伝達方法については課題が指摘されている。

警戒レベル4の状況で消防団や役場職員の広報活動実施には課題がある。

常日頃から村民自らが、必要な情報を収集して避難行動ができるよう心掛けてほしい。

答 溝渕村長

消防団員などの活動基準の明確化は、研究すべき課題だ。国の作業の方向性なども聞き取りながら策定したい。

3歳児健診での弱視検査の実施は

機器には十分な有効性がある **村長**



岡村 俊彰議員

問 岡村(俊)議員

スポットビジョンスクリーナーという機器を用いて、県内自治体で3歳児健診に使用し、子どもの弱視のリスクを高精度で検査しているようだ。当村でもこの機器を用いて3歳児健診を実施し



今年の乳児健診

ているようだが、いつから実施していて、その結果及び成果はどうか。また、当村での購入も検討してはどうか。

答 山本健康福祉課長

機器を使用しての弱視検査は、本年度から実施

している。3歳児健診は年3回の予定で、1回目を6月に安芸福祉保健所から機器を借りて検査に使用した。

従来の検査では分からなかった、弱視の可能性の発見精度が高くなることで成果はある。

3歳児健診には機器を保有せずに、リース及びレンタル契約をしていない市町村に優先的に貸し出される。

他市町村と重複することとはなく、当面は機器の借り入れが可能である。

答 溝渕村長

機器そのものは、大変有効なものと認識している。

現段階では、借り入れで健診に十分対応できるが、今後なんらかの支障が発生した場合は、レンタルや購入などについてもその時点で改めて検討する。

海外の子どもとの交流を

課題の研究が必要 教育長



安芸友 幸議員

問 安芸友議員
全国学力テストの結果が公表された。

本年度から中学3年生に英語が加えられたが、当村の子どもたちの結果と今後の指導を聞く。
小学校では英語が教科として始まっている。
教員の負担増（長時間勤務や英語の専門性）、英語嫌いや意欲減退の子

ども、学力差対策などの課題をどう考えるか。

地域の特性を生かし、保育所から中学校までの英語の一貫教育の研究を推進し、全ての子どもたちに確かな力をつけることが大切ではないか。
グローバル社会に対応するため、英語力、特にコミュニケーション能力が求められている。ICTを活用した遠隔地や海

外の子どもたちとの交流ができる方策を考えてはどうか。

答 池田教育長

全国学力テストの結果は、小学6年生の国語、算数、中学3年生の国語、数学ともに高知県の平均正答率とおおむね同じである。しかし、本年度初めて実施された英語

は全国、県より低い。
英語では書くことと話すことに課題が見られた。

当村の就学前の英語教育はALTの活用で大変効果が上がっているが、小学校では書くことが求

められる。先を見通した連携が必要で、月1回中学校の英語担当教員が小学校で授業を行い、交流を図っている。

研究推進は県教委とも連携して教員の負担軽減と小学校段階からの英語

教育の充実を図りたい。
ICTを活用した海外の子どもとの交流は大きく成果を上げている例も聞くが、クリアすべき課題もあるので研究を進める必要があると考える。



小学校の英語授業

若者の投票率を上げるには

政治離れへの改善策が必要 村長

問 安芸友議員

7月の参議院議員選挙は、18歳選挙権が始まって3回目だが全国的に若者の投票率が低いと聞く。当村の投票率はどうか。

子どもの頃から主権者意識を育て、社会の一員として社会に目を向けさせる教育が大切だが、学校での主権者教育はどのように行われているか。若者に投票へ行かなかった理由を聞くと政治が遠い存在であることを感じる。主権者教育は学校だけでなく地域での取り組みも必要ではないか。例えば、地区懇談会の

工夫をし、年代を超えてのつながりや話し合いを大切にしてはどうか。若者の投票率を上げるための情報発信や啓発活動、投票の仕方や場所などの工夫も必要ではないか。

答 都築総務課長

18歳選挙権以後の当村の投票率は平均47%で、10代・20代の若者は30%。3人に2人が棄権している状況である。

当村の学校での主権者教育は、昨年12月、中学校生徒会役員選挙の前に県の出前講座を開催し、選挙の歴史、18歳選挙権、選挙への関心の大切さなどを学んだ。今後も

模擬投票や啓発について学校や教育委員会と協力していきたい。

住民対象のアンケートや中学生とのワークショップを通して将来的には政治への関心や投票率の向上へつなげたい。期日前投票所の量販店への設置や移動投票所なども検討していきたい。

答 溝渕村長

若い世代を含めた政治離れへの改善策が課題だ。

行政や選挙管理委員会と共に、議員活動を通して政治への関心や投票率向上へつなげてほしい。

和食津波避難タワーに屋根を

優先順位は高くない 村長



松坂 充容議員

問 松坂議員

「当村の津波最大浸水深は、15メートル、一部地域では15メートルに達する」と想定している。

その対策のひとつとして和食避難タワーは建てられ、建物は2階建てで2階部分は地域の集会所となり、屋上が避難場所として指定されている。そこは砂丘の東端であり、海岸も近く、高台といってもかなり低くなっている。「より高い所に避難したい。そのとき雨が降っていたら」とイメージを湧かせ、屋根をつけてほしいという地域の声がある。香南市のように屋根があるのが避難タワーのあるべき姿ではないのか。なぜ和食避難タワーは屋根のない構造にしているのか。また、今からでも雨、風をしのげるものに改良すべきではないか。

答 都築総務課長

和食避難タワーは地区住民と協議を重ね、平成24年に着工している。屋上部分に屋根を設置していないが、ブルーシートで雨をしのげるよう鉄骨で枠組みを設置している。県の避難タワー設計の手引きに基づき設計されている。近隣市町村のタワーもすべてに屋根が設置されているわけではなく、屋根がなければ危険、違法というものではない。

問 松坂議員

避難した人が屋根を取り付けるにはそれなりの人もいるし知識もある。簡単ではない。そもそも避難した人がそんなことを最優先でやる余裕

答 溝渕村長

屋根がないことで、違法性があるとか避難に支

があるのか。村長は設置についてどういう認識か。

障があるなどのことがなければ、村の事業の中で優先順位はそれほど高くない。



和食津波避難タワー

議会の傍聴に

お気軽に

おいでください。

次の定例会は

12月中旬の予定です。

編集委員

- 委員長 松坂 充容
- 副委員長 岡村 俊彰
- 委員 安芸友 幸
- 池田 廣
- 伊藤 宏
- 岡村 興樹
- 小松 康人
- 仙頭 一貴
- 宮崎 義明
- 竹内 英樹



詳しく知りたい方は、議事録を閲覧できますので、議会事務局までおいでください。

議会事務局 (TEL) 33-2137

視察 研修

安田町議会広報編集委員会来村



8月23日、安田町議会小松議長、広報編集委員会のメンバー等6人が当村の議会広報編集の方法を参考にするため、当議会を訪れ交流しました。竹内議長、岡村（俊）副委員長が対応しました。

安田町議会は、今度の議会広報を町の広報から独立させ、議員独自で議会広報を作成していくこととしたため、議員だけで作っている当村の議会広報作成過程を参考にしたいとのことで来村しました。

全国町村議会広報研修会に参加



9月25日、東京永田町シェーンバツハ・サポーで町村議会広報研修会が開かれ、松坂、安芸友、岡村（俊）の3議員が出席しました。

「読者目線で親切な広報誌を作るには」と題する講演や、町村議会広報コンクール上位入賞の広報を題材にした広報作成の実践的な話がありました。

安芸郡町村議会議員等研修会に参加



安芸郡町村議会議員等研修会が7月24日に東洋町役場大ホールで開かれ、7町村の議員、監査委員などが集まりました。

「高知県東部の修学旅行受け入れについて」「田舎生活体験の取り組み事例について」の講演がありました。



TOPICS 01 観月の宴 9月14日(土)

琴ヶ浜松原観月の宴が開かれました。

ステージでは、和太鼓集団「響屋^{おとや}」、全国大会3位の「一響館」侍、龍笛演奏の「WA YO」など村内外10団体の演奏や踊りが披露されました。



TOPICS 02 竹灯りの宵 10月5日(土)

琴ヶ浜野外劇場周辺で琴ヶ浜竹灯りの宵が開かれました。

午後5時、数百本の竹灯り、約2000個のろうそくに点灯。今年初めて「GEISEI」の文字に灯りがともされました。

ステージでは、ジャズなどの生演奏が行われ、心地よい音楽が琴ヶ浜を包みました。

